

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	今後、ターミナルケアを行っていく方向性ではあるが、医療や看護との連携、ケアの充実など多くの課題がある。	ターミナルケア実施に向けて、必要な体制を整えていく。	①基準と書類を整備する。 ②医療、看護、家族との連携を密にする。 ③勉強会を行い、必要な知識と技術を職員全員が習得する。	12ヶ月
2	38	職員側の都合で余暇活動や外出等を行っている傾向がある。	個々の希望を優先し、その希望に沿った支援を実施していく。	①個々の希望を毎日、確認する。 ②一人一人に合った活動を提供する。 ③個別性を重視する。 ④一方的な思い込みをせず対話による自己決定への糸口を見つける。	12ヶ月
3	35	夜間を想定し、緊急連絡網を使った連絡の強化、火災や地震だけでなく、電気や水が止まった場合の訓練、マニュアルの作成が必要。	勉強会、訓練を通し、防災への知識、意識を高める。	①緊急連絡網の作成、訓練。 ②ライフラインに備えるマニュアルの作成。 ③職員への周知の徹底。	12ヶ月
4	1	各ユニットの目標が明確でない。	その時々の利用者の質、職員の現状を踏まえ、目標を変えていかなければならない。	各ユニットでの目標の到達点を話し合い決定する	12ヶ月
5	15	看護職員との連携に問題がある。	利用者の異変に対応した専門的な説明、受診の有無を常に家族が理解している。	24時間の医療連携体制が整っている。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。